

## 令和2年度瓶井学園事業報告

### 事業の概要

#### (1) 主な教育・研究の概要

- ・「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」等

#### 1 日本コンピュータ専門学校

##### (1) 学校運営事業

- 1) 業務目標管理シート（部門別）の結果評価について「教育課程編成・学校関係者評価の管理と実施」「学生指導・面接・アンケートの実施」「シラバスの到達目標」「留学生ビザ更新」の項目でおおむね目標を達成した。一方、コロナ禍の影響で「イベント実施等広報活動」「就職・資格取得向上」「学校・学生行事」「インターンシップの実施」の項目では成果を得ることができなかった。
- 2) 学校関係者評価委員会を10月17日に実施した。

##### (2) 教育活動事業

- 1) 教育課程編成委員会を12月19日と3月27日に実施した。
- 2) 留学生在籍管理を強化し、不法残留者の軽減を図った。
- 3) 大阪府商工労働部の委託訓練事業（長期訓練生1年11名、2年5名）を行った。
- 4) 新型コロナウイルス感染症防止対策に配慮し、オンライン教育等を適宜実施した。クラスターも出すことなく無事所定の教育を終えることができた。
- 5) 日本教育情報学会国際交流研究会主催の国際シンポジウム「ニューノーマル時代における留学生教育の在り方について考える」（3月13日）で西坂公典氏が基調講演を行った。

##### (3) 広報事業

- 1) 学生募集で特別奨学金・特待生制度利用者に66,920,000円を支給した。学生募集については入学者数92名（令和元年度69名）、総実員126名（令和元年度104名）であった。

##### (4) 教育設備充実事業

- 1) マイクロソフトライセンス使用料を706,860円（令和2年3月～令和3年2月）手続きし、内容の充実を図った。
- 2) 教具 3F・2Fサウンド用<ドラム・ギター弦等>79,811円、4F実習室用等<Mac5台、Adobe CC17本>1,114,828円、4FVRゲーム用<MSI GEFORCE GTX1650 4GT LP グラフィックスボード4台、StrfamVR用ヘッドマウントディスプレイ>127,772円、8F実習室用<ノートパソコン10台>704,000円で購入し、設備の充実を図った。
- 3) 校具 1F職員室<ルーター>33,600円、教室用<机60台・椅子60脚>957,000円で整備し、充実を図った。

- 4) 学校ドメイン取得更新料 7,700 円(コン)/年、学校ホームページのサーバー代 4,752 円/年で整備し、充実を図った。
- (5) 教育設備保守・改修・補修事業
  - 1) エレベータハンガーローラ等補修を 65,560 円、高架水槽外部複合パネル補修を 71,500 円、校舎北側排水溝補修を 5,000 円で整備し、充実を図った。
- (6) 補助金事業
  - 1) 大阪市結核補助金申請を行い 7,052 円の交付を受けた。
  - 2) 文部科学省により「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』事業が創設されたので、申請書を提出し 1 次推薦 9 名、1,000,000 円、2 次推薦 2 名、200,000 円、3 次推薦 4 名、400,000 円が選定され、給付金は日本学生支援機構から本人に直接振り込まれた。
  - 3) 日本学生支援機構「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」を申請し、4 人、200,000 円の交付を受け、学生に還付した。
  - 4) 「高等教育の修学支援新制度にかかる補助金」の申請を行い 1 年 5 名、2,458,400 円、2 年、1 名、590,000 円の交付を受け本人の学費に充当した。
  - 5) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」に対し、12 ヶ月採用（職業実践課程枠）3 名、特別追加採用 4 名を日本学生支援機構に該当者を推薦し採択された。
- (7) 研修事業
  - 1) 教員が指導力研修「With コロナ時代に求められる教育・指導体制とは」等 8 講座、専門分野研修「ウィネット情報処理セミナーIPv6 移行技術と課題」1 講座を受講し、資質向上を図った。
- (8) 学外活動事業
  - 1) 全国工業専門学校協会会員（年会費 10,000 円）
  - 2) 大阪府専修学校各種学校連合会会員（年会費 70,854 円）、全専各総連合会会員（年会費 40,000 円）

## 2 日本メディカル福祉専門学校

- (1) 学校運営事業
  - 1) 業務目標管理シート（部門別）の結果評価について臨床工学科は「OB 関連実習と特別講義」「ホームページによる SNS 発信」の項目について、社会福祉士科は「適切な卒業認定方針」「新カリキュラムに向けての円滑な授業運営」「国試対策講座・模擬試験運営」「OC 等入学受け入れ方針」の項目について、こども福祉学科は「授業運営」「学生対応」「業務報告」「実習配属・指導」保育士科は「スクーリング運営」「レポート管理等」「実習配属・指導」「たよりの発行」「業務報告等」の項目について、福祉通信科は「レポート管理等」「各種発送日厳守」「書類の整理・管理」「教務会議の実施」「設備の管理」「国試対策講座運営」の項目について、日本語学科は「新告示基準・遵守・報告の徹底」「卒業認定率（退学・除籍抑制）」「教育課程編成の改良」の項目でほぼ目標を達成した。一方、臨床工学科は「国家試験合格率」「入学者受け入れ高校訪問等」の項目について、社会福祉士科は「国家試験合格率 90%」の項目について

て、こども福祉学科は「出張広報」「書類整理」保育士科は「Eラーニングシステム活用」の項目について、福祉通信科は「就職・転職サポート」の項目について、日本語学科は「定員充足率」「募集、申請業務の効率化と質向上」の項目については成果を得ることができなかった。

- 2) 学校関係者評価委員会をこども福祉学科では10月17日、臨床工学科では10月17日に実施した。
- 3) 日本語学科の学校自己点検評価を3月31日に実施した。

## (2) 教育活動事業

- 1) 教育課程編成委員会をこども福祉学科では10月17日と3月4日、臨床工学科では7月9日と2月25日に実施した。
- 2) 留学生在籍管理を強化し、不法残留者は0となった。
- 3) 大阪府商工労働部の委託訓練事業(長期訓練生2年14名、短期生26名)を行った。
- 4) 新型コロナウイルス感染症防止対策に配慮し、福祉では後期実習受け入れ一部不可もあったが、学内実習等に切り替え、オンライン教育等を適宜実施した。クラスターも出すことなく無事所定の教育を終えることができた。
- 5) コロナ禍、臨床工学科の1年次病院見学は中止となった。

## (3) 広報事業

- 1) 臨床工学科及び臨床工学専攻科の奨学金制度利用者に27,540,000円を支給した。
- 2) 社会福祉士科(昼)に9,995,000円を及びこども福祉学科に2,640,000円を奨学金制度利用者に支給した。
- 3) 社会福祉士科(通信)に965,000円を、精神保健福祉士科(通信)に1,285,000円を、保育士科(通信)に430,000円を奨学金制度利用者に支給した。また、保育士科特例等履修に80,000円を奨学金制度利用者に支給した。(令和2年度スクールソーシャルワーク養成講座は未開講につき0円)
- 4) 日本語学科の中国、ベトナム等募集手数料として紹介業者に2,100,000円の手数料を支払った。また、日本語学科の特別奨学金・特待生制度利用者に840,000円を支給した。
- 5) 学生募集については専門課程入学者数110名(令和元年度135名)、総実員266名(令和元年度274名)、別科(通信)入学者数341名(令和元年度355名)であった。
- 6) ネット出願サーバー管理料55,000円/年で整備し、入学願書提出の利便性を高めた。

## (4) 教育設備充実事業

- 1) 図書(臨床工学科、社会福祉士、日本語学科)を128,114円で購入し備品の充実を図った。
- 2) 校具(ルーター、スイッチングハブ3台、消火器、AEDバッテリー、プリンター、アクリルパーテーション17点等の備品)を162,037円で購入し設備の充実を図った。
- 3) 教具(プロジェクター3台、ヘッドセットマイク2台、CDプレーヤー1台等)を186,620円で購入し設備の充実を図った。
- 4) eラーニング教育システムを1,045,000円(通信教育・臨床使用)、Web会議システム使用料を28,050円で整備し、充実を図った。
- 5) 学校ドメイン取得更新料各7,700円×2(学園、メディ)/年・1,980円(こども)/年、

学園・学校ホームページのサーバー代 6,336 円/年で整備し、充実を図った。

(5) 教育設備保守・改修・補修事業

- 1) 設備補修・改修 (トイレフラッシュャー補修、貯水槽洗浄、高架水槽洗浄、雨どい配管詰り補修、等) を 115,885 円で整備し設備の充実を図った。
- 2) 建物・設備補修 エアコン設備 936,100 円、保育 1 号館塗装 3,064,050 円、福祉棟鉄部・看板塗装 583,000 円、臨床棟鉄部・階段・看板塗装 420,200 円、保育 2 号館エントランス補修 260,260 円、保育 3 号館防水工事 586,740 円で整備し設備の充実を図った。

(6) 補助金事業

- 1) 大阪市結核補助金申請を行い 6,642 円の交付を受けた。
- 2) 文部科学省により「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』事業が創設されたので、申請書を提出し 1 次推薦 20 名、2,300,000 円、2 次推薦 2 名、200,000 円、3 次推薦 3 名、300,000 円が選定され、給付金は日本学生支援機構から本人に直接振り込まれた。
- 3) 日本学生支援機構「新型コロナウイルス感染症対策助成事業』を申請し、14 名、400,000 円の交付を受け、学生に還付した。
- 4) 「高等教育の修学支援新制度にかかる補助金」の申請を行い 1 年 5 名、1,770,100 円、2 年、1 名、393,400 円、3 年、2,360,000 円の交付を受け本人の学費に充当した。
- 5) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」に対し、12 ヶ月採用 (一般枠) 1 名、特別追加採用 4 名を日本学生支援機構に該当者を推薦し採択された。
- 6) 日本語学科非常勤講師雇用維持で、緊急雇用安定助成金申請し、419,850 円を受けた。

(7) 研修事業

- 1) 教員が指導力研修「With コロナ時代の教育について」「活力あるクラスづくり」研修等 4 講座、専門分野研修「With コロナ時代におけるニッポンの保育」「2020 年度循環器部門セミナー」研修等 2 講座を受講することで資質向上を図った。
- 2) 外国人留学生の在留審査手続の申請取次ぎ等にかかる研修会に参加し、取次ぎ許可書の申請を行った。

(8) 学外活動事業

- 1) 日本臨床工学技士教育協議会会員 (年会費 50,000 円)、大阪府臨床工学技士会賛助会員 (年会費 20,000 円)
- 2) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟会員 (年会費 150,000 円)、日本社会福祉士会賛助会員 (年会費 20,000 円)、大阪社会福祉士会賛助会員 (年会費 10,000 円)
- 3) 全国保育士養成協議会会員 (年会費 140,000 円)、近畿ブロック保育士養成協議会会員 (年会費 10,000 円)
- 4) 全国専門学校日本語協会会員 (年会費 60,000 円)
- 5) 大阪府専修学校各種学校連合会会員 (年会費 111,326 円)、全専各総連合会会員 (年会費 50,000 円)
- 6) 大隅振興町会 (年会費 30,000 円)
- 7) りそな総合研究所 (年会費 66,000 円)

### 3 日本理工情報専門学校

#### (1) 学校運営事業

- 1) 業務目標管理シート（部門別）の結果評価について「専門実践教育課程の委員（自動車整備科）」「資格受験率・合格率 100%」「就職率」「留学生学生管理」の項目について、日本語学科は「新告示基準、遵守・報告の徹底」「卒業認定率（退学・除籍抑制）」「教育課程編成の改良」の項目でおおむね目標を達成した。一方、「オープンキャンパス用コンテンツ作成」「退学率」、日本語学科は「定員充足率」「募集、申請業務の効率化と質向上」の項目については成果を得ることができなかった。
- 2) 学校関係者評価委員会を7月25日に実施した。
- 3) 日本語学科の学校自己点検評価を3月31日に実施した。

#### (2) 教育活動事業

- 1) 教育課程編成委員会を7月25日と12月12日に実施した。
- 2) 留学生在籍管理を強化し、不法残留者の軽減を図った。
- 3) 建築デザイン科の学生に関西アリーナ工事見学を実施することができなかった。
- 4) 大阪府商工労働部の委託訓練事業（長期訓練生1年4名、2年1名）を行った。
- 5) 全日本電気工事業工業組合連合会「電気工事業界理解促進事業」として、大阪府電気工事業工業組合高槻・吹田支部主催による交流事業を本校で実施することができなかった。
- 6) 新型コロナウイルス感染症防止対策に配慮し、オンライン教育等を適宜実施した。クラスターも出ることなく無事所定の教育を終えることができた。

#### (3) 広報事業

- 1) 学生募集で特別奨学金・特待生制度利用者に71,280,500円を支給した。
- 2) 日本語学科募集拠点手数料として中国、タイ、ベトナム、ミャンマー等募集手数料として紹介業者に3,360,000円の手数料を支払った。また、日本語学科の特別奨学金・特待生制度利用者に1,200,000円を支給した。
- 3) 学生募集については入学者数119名（令和元年度177名）、総実員305名（令和元年度318名）であった。
- 3) 西日本三菱自動車販売（株）と「三菱自動車奨学金制度」（自動車整備科の学生対象）の共同実施に関する契約を交わした。

#### (4) 教育設備充実事業

- 1) レーシングカー教育費用（ダンロップタイヤ等走行材料）は0円（中止による）。
- 2) 学校ドメイン取得更新料各7,700円（理工）/年、学校ホームページのサーバー代4,752円/年、日本語学科のサーバー代1,980円/年で整備し、充実を図った。
- 3) 教具（バッテリー、プリンターヘッド、ハンドソー替刃）を35,212円で購入し設備の充実を図った。
- 4) 校具（スイッチングハブ、ルーター、熱試験器火口、感知器、ガスコンロ2台、Wifi6台、ポリッシャーパッド等の備品）を154,198円で購入し設備の充実を図った。
- 5) 図書（日本語学科）を27,016円で購入し備品の充実を図った。

#### (5) 教育設備保守・改修・補修事業

- 1) 建物・設備補修（エアコン設備、1号館外部塗装、3号館外部塗装等）を2,911,920円で行い、整備し充実を図った。
  - (6) 補助金事業
    - 1) 大阪市結核補助金申請を行い5,904円の交付を受けた。
    - 2) 文部科学省により「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』事業が創設されたので、申請書を提出し1次推薦26名、2,600,000円、2次推薦2名、200,000円、3次推薦1名、100,000円が選定され、給付金は日本学生支援機構から本人に直接振り込まれた。
    - 3) 日本学生支援機構「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」を申請し、5名、200,000円の交付を受け、学生に還付した。
    - 4) 「高等教育の修学支援新制度にかかる補助金」の申請を行い1年9名、3,750,200円、2年、4名、1,625,000円の交付を受け本人の学費に充当した。
    - 5) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」に対し、12ヶ月採用(職業実践課程枠)7名、特別追加採用5名を日本学生支援機構に該当者を推薦し採択された。
    - 6) 日本語学科非常勤講師雇用維持で、緊急雇用安定助成金申請し、382,500円を受けた。
  - (7) 研修事業
    - 1) 教員が指導力研修「ICTを活用した学びの勧め・出口戦略実践セミナー」等5講座、専門分野研修「SUBARU オンライン技術研修会」「関西スマートエネルギーWeek2020」等6講座を受講することで教員の資質向上を図った。
    - 2) 外国人留学生の在留審査手続の申請取次ぎ等にかかる研修会に参加し、取次ぎ許可書の申請を行った。
  - (8) 学外活動事業
    - 1) 大阪府電気工事工業組合賛助会員（年会費36,000円）
    - 2) 日本語教育振興協会維持会員（年会費220,000円）
    - 3) 大阪府専修学校各種学校連合会会員（年会費174,630円）、全専各総連合会会員（年会費50,000円）
    - 4) 日本語学校協同組合費（年会費6,000円）
- #### 4 瓶井学園日本語学校京都校
- (1) 学校運営事業
    - 1) 業務目標管理シート（部門別）の結果評価について「卒業認定率」「留学生の生活指導」『教員の質向上』の項目でおおむね目標を達成した。一方、「定員充足率」「入管業務の効率化」の項目については成果を得ることができなかった。
    - 2) 学校自己点検評価を3月31日に実施した。
  - (2) 教育活動事業
    - 1) 日本語教育の教育計画を作成し、日本語能力試験合格、日本留学試験受験のための目標を設定した。
    - 2) 留学生在籍管理として、生活指導、アルバイト管理のマニュアルに基づいて実行し、不法残留者の未然防止を図った。
    - 3) 初めての卒業生を送り出すにあたり、全員が進学、卒業式行事を無事終えることが

できた。

(3) 広報事業

- 1) 日本語学科募集拠点手数料として中国、ベトナム、ネパール等募集手数料として紹介業者に 600,000 円の手数料を支払った。また、日本語学科の特別奨学金・特待生制度利用者に 240,000 円を支給した。
- 2) 学生募集については入学者数 0 名（令和元年度 13 名）、総実員 17 名（令和元年度 13 名）であった。

(4) 教育設備整備事業

- 1) 図書を 9,424 円で購入し設備の整備を図った。
- 2) 校具 なし

(5) 教育設備保守・改修・補修事業

- 1) 設備補修 なし

(6) 補助金事業

- 1) 文部科学省により「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』事業が創設されたので、申請書を提出し 1 次推薦 2 名、200,000 円、2 次推薦 5 名、500,000 円、3 次推薦 5 名、500,000 円、4 次推薦 4 名、400,000 円が選定され、給付金は日本学生支援機構から本人に直接振り込まれた。
- 2) 日本学生支援機構「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」を申請し、16 人、200,000 円の交付を受け、学生に還付した。
- 3) 「文部科学省外国人留学生学習奨励費」に対し、12 ヶ月採用（一般枠）1 名、特別追加採用 2 名を日本学生支援機構に該当者を推薦し採択された。
- 4) 日本語学科非常勤講師雇用維持で、緊急雇用安定助成金申請し、76,800 円を受けた。

(7) 研修事業

- 1) 外国人留学生の在留審査手続の申請取次ぎ等にかかる研修会に参加し、取次ぎ許可書の申請を行った。

(8) 学外活動事業

近隣住民と交流を図った。

5 その他

- (1) 各学校、各学科のホームページ運営担当者を対象に外部講師を招きホームページ研修を 10 回実施し、各部門の広報活動を推進した。
- (2) 私立学校法改正（令和 3 年 4 月 1 日施行）に伴い理事・監事と補償契約を結んだ。
- (3) 私立学校法改正（令和 2 年 4 月 1 日施行）に対応する為、令和 3 年度も役員賠償責任保険（支払い限度額 1 億円）に加入した。

(2) 中期的な計画（教学・人事・施設・財務等）及び事業計画の進捗・達成状況

- (1) 教学 現行学科を整備し、定員確保できる教育を企画し、新学科を設置又は現行の充実化については社会状況を見極め継続中。
- (2) 人事 理工については高年齢化しており、世代交代を図るべき方法を模索しているが、進捗状況なし。福祉については人事の異動が行われたが次世代の人材育

成が求められる。令和3年度が見極めのときである。

- (3) 施設 新耐震に適合すべき施設(2棟)の対応、補強又は建替えを検討中であるが、進捗なし。
- (4) 財務 学校間により、差異がある。特に新型コロナの影響により留学生の入国が難しくなっており、また、本科においても次年度は留学生確保が厳しく予断を許さない。
- (5) その他 社会人教育の充実化の一つとして各学科ごとに教育訓練給付金制度の認可を得る必要がある。既に認可を得ている学科については3年後の更新に備え、未認可の学科については次年度申請に当たり、条件を満足する必要がある。福祉、臨床、理工では対応し維持できているが、コンピュータでは申請条件の実績を確保する必要がある。

### (3)その他

#### (1) 新型コロナに伴う寄附物品について

- 1) UNE SCO 赤い羽根支援について日本理工情報専門学校日本語学科16名に対し、お米、洗剤、油、砂糖、塩、胡椒、味の素、サランラップ、ゴミ袋、トイレットペーパー等の寄贈を受けた。
- 2) UNE SCO 赤い羽根支援について日本メディカル福祉専門学校16名に対し、お米、洗剤、油、カップラーメン、焼き鳥缶、マスク、消毒液、焼きビーフン、鯖缶、コーンビーフ缶等の寄贈を受けた。
- 3) 大阪府福祉人材法人指導課からマスク3500枚、フェイスシールド200枚、不織布マスク250枚、非接触型体温計3個、消毒液25本等の寄贈を受けた。